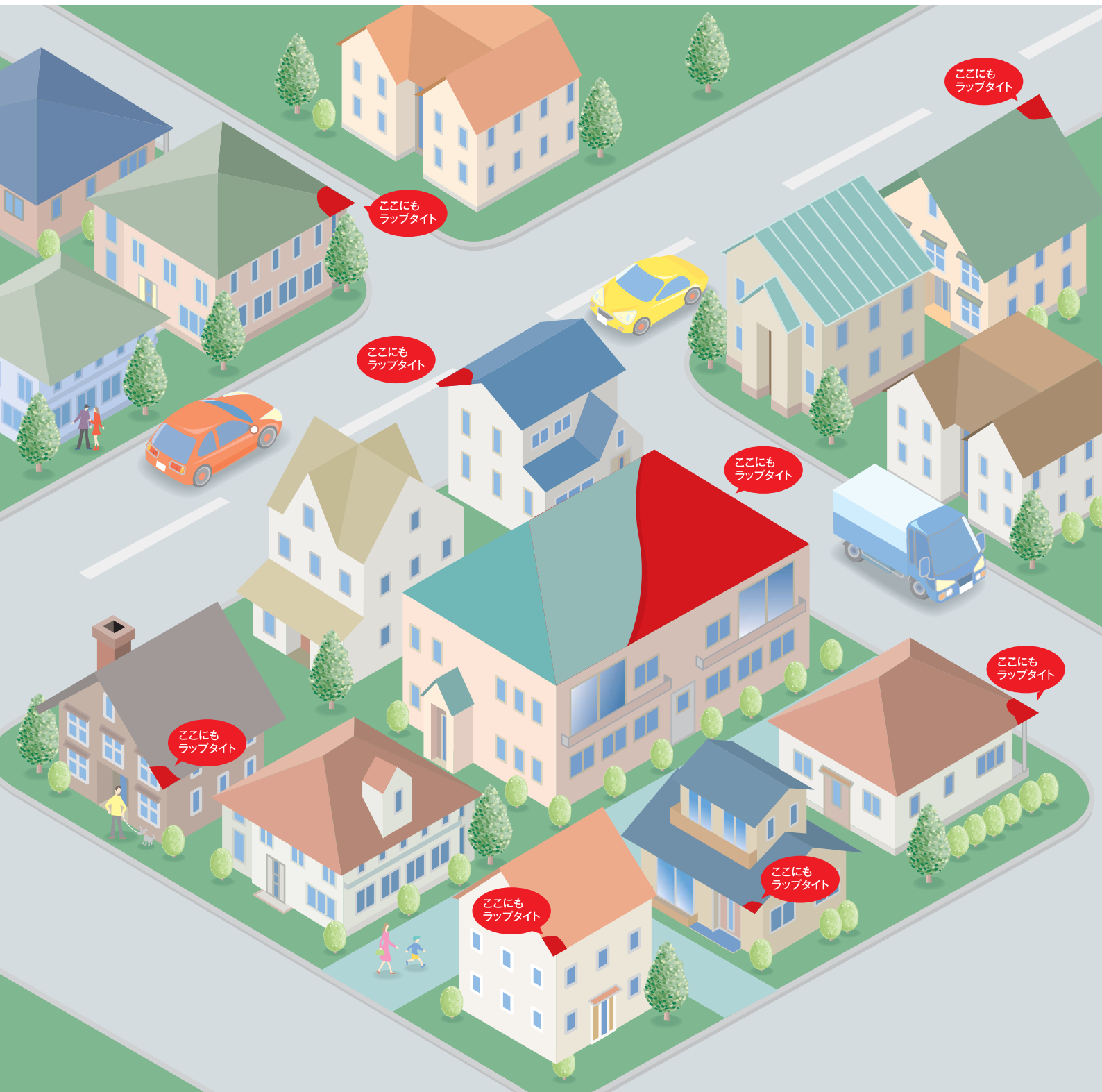


住宅屋根下地用

透湿・防水 粘着シート

Wraptite

ラップタイト



屋根に、 ラップタイト。

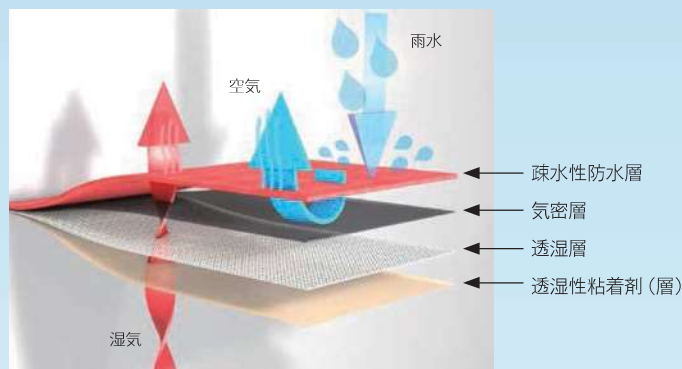
“これから”の屋根下地材の新常識です。

ラップタイトは、防水性と透湿性という矛盾する特性を高次元で実現する屋根下地材です。

貼って密着させる新工法は施工がカンタンだけでなく、高い防水性能を発揮します。

雨漏りと室内側からの湿気による野地板の劣化を防ぎ、住まいの耐久性の向上に貢献します。

独自のノウハウを活かした特殊4層構造



雨水の浸入を防ぎ、室内の湿気を放出します。



POINT 1 貼って押さえるだけの
カンタン施工。

裏面に高い粘着性を有しているため、貼って押さえるだけでカンタンに施工できます。もちろん、タッカー留めも不要です。

作業手順 (写真はイメージです)

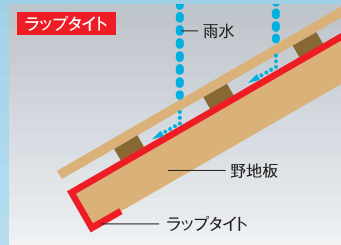


あらかじめ必要な長さに切ります。縦貼り、横貼りどちらも可能です。該当場所に貼っていきます。

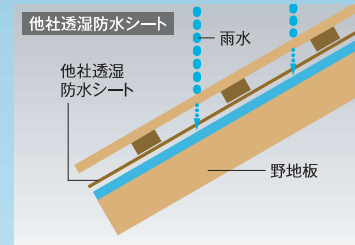
POINT 2 野地板に密着して
高い防水性能を発揮[※]。

特殊な構造により、雨水や外部からの湿気をシャットアウト。下地材(野地板)にぴったり密着するので、雨水が浸入する隙間もありません。

[※]止水性については、P4をご参照ください。



野地板に密着して雨水の浸入を防ぎます。



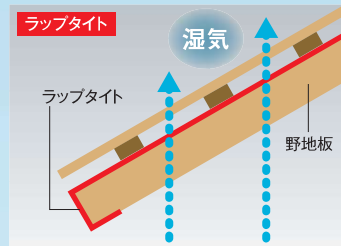
野地板と防水シートとの間に隙間があるので、雨水が入り込みます。

POINT 3 “内”からの湿気を
“外”へ逃がします[※]。

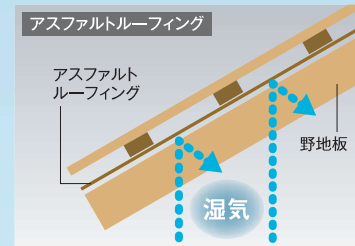
ガーゼ付き絆創膏と同じ透湿性粘着剤を使用することにより、優れた透湿性能と粘着性能を実現。屋根の内側に湿気を残さず、野地板を守ります。

[※]透湿性については、P4をご参照ください。

ラップタイトと従来製品の構造比較



屋内の湿気が放出されるので、屋根の内側に湿気がこもりません。



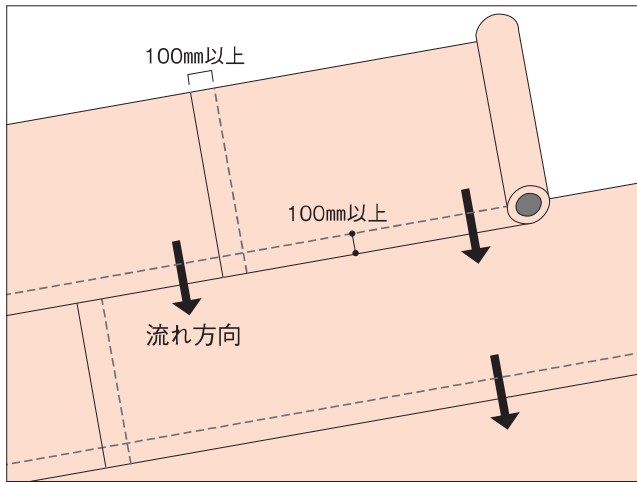
屋内の湿気が抜けないので、屋根の内側に湿気がこもってしまいます。



ラップタイトに関する標準施工方法および注意事項を示したものです。
 施工前に必ずお読みの上、正しい施工を行ってください。

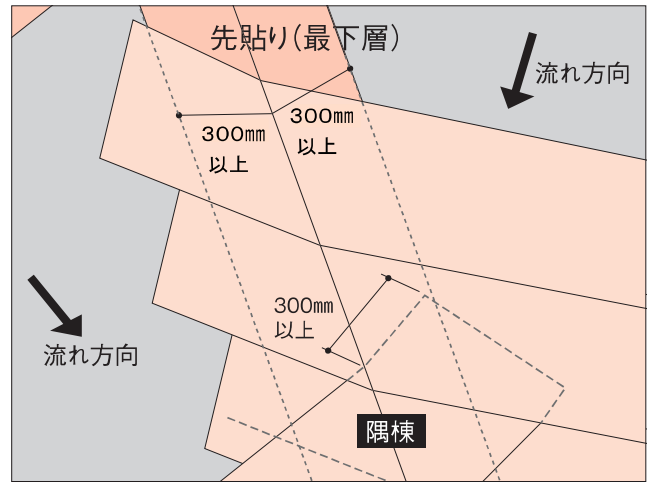
※本施工説明書は予告なく変更することがあります。予め、ご了承ください。

一般部



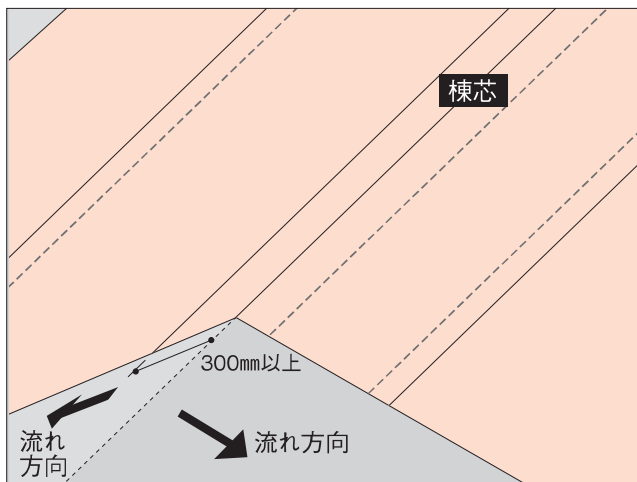
軒先より棟頂方向に向かって横貼してください。
 重ね目は垂直方向に100mm、水平方向に100mmを取ってください。

谷部



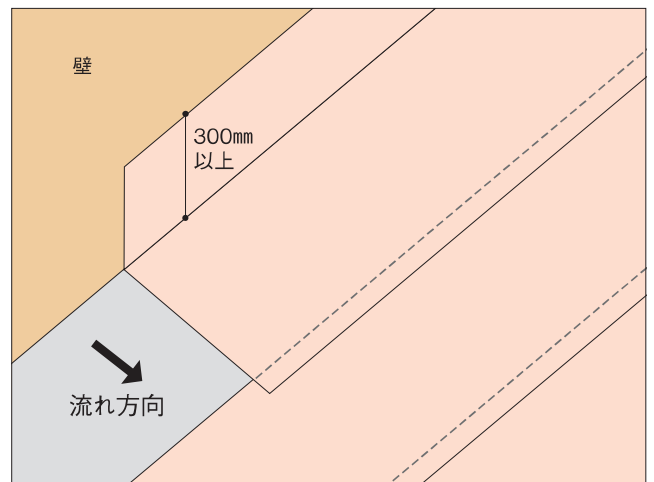
先に谷部に沿って600mm以上のラップタイトを貼り、次に横方向に貼ります。双方、谷部を超えたところまで(300mm以上)貼ります。

大棟部



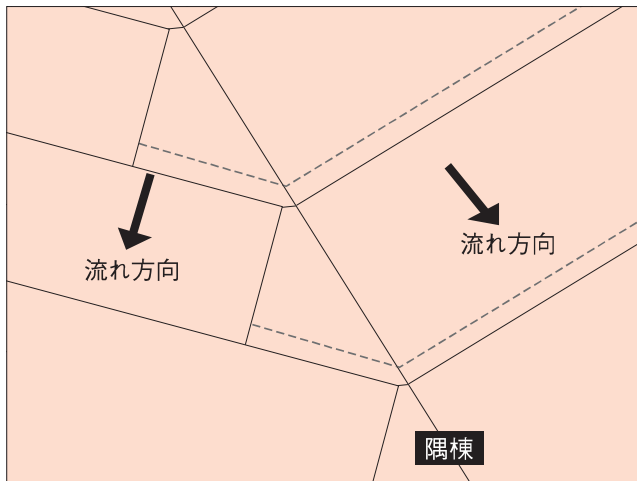
大棟部をまたいで、双方向に各300mmを重ねてください。

壁取り合い部



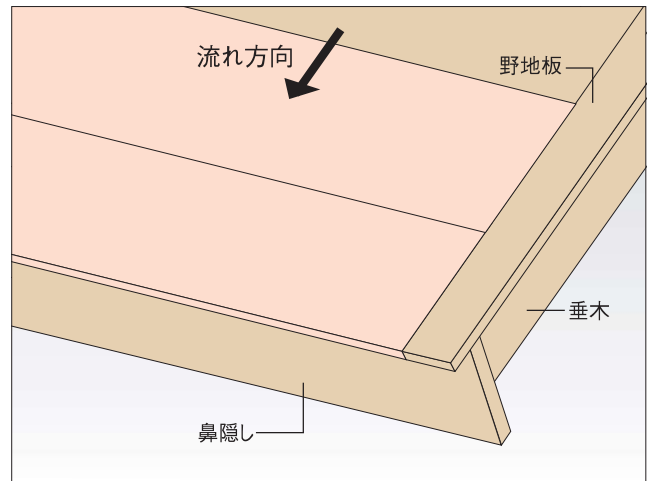
屋根の下地から連続して、壁に沿って300mmを立ち上げてください。

隅棟部



大棟部と同じように貼ります。

軒先部



下の部分まで包み込んで貼ってください。

Test Results

ラップタイトの防水性と透湿性が実証されました。

水の漏れは、試験結果の全てがMDFと試験片との間で発生しており、釘下からの漏れは確認できませんでした。

このため、粘着性能のあるWraptiteは、試験片とMDFとの間に隙間が生まれないため、高い釘穴止水性能があります。

また、他社製品については、静置した状態では水漏れを起こさなかったサンプルでも、左右、上下に動かすと釘穴が広がり容易に水漏れが発生します。

しかし、Wraptiteは、粘着固定されているので上下左右に動くことがなく、実際の施工現場においても優位性があります。

透湿度についても、他社製品と比較して優れた数値を示しています。

(ビッグテクス社内試験)

	釘穴止水試験					透湿試験	製品重量 (g/m ²)
	減水量 (mm) ※開始時35mm					透湿度 (g/m ² ・h)	
Wraptite 製品	0	0	0	0	0	120~130	280
アスファルトルーフィング	1	15	0	0	0	0.7	1150
改質アスファルトルーフィング	1	2	0	0	0	0.9	1000
A社製 透湿防水シート	全流出	全流出	全流出	全流出	全流出	208	180
B社製 透湿防水シート	3	18	10	1	13	72	160
C社製 透湿防水シート	9	3	8	0	3	74	280

釘穴止水試験 JIS A 6111

試験条件

使用材料: 70mm×70mm JIS A 5905に規定される区分30タイプの構造用MDF。

釘: JIS A 5508に規定されるSF50または、SFC50。胴部形状はリングとする。また、

右下の図のように、MDFに試験片を設置し、釘を打つ。

シール剤硬化後に35mmまで水を入れ、24時間後の水位を測定する。

なお、全流出とは24時間後の水位が5mm以下を言う。N数10にて測定を行い、1つでも残水位5mm

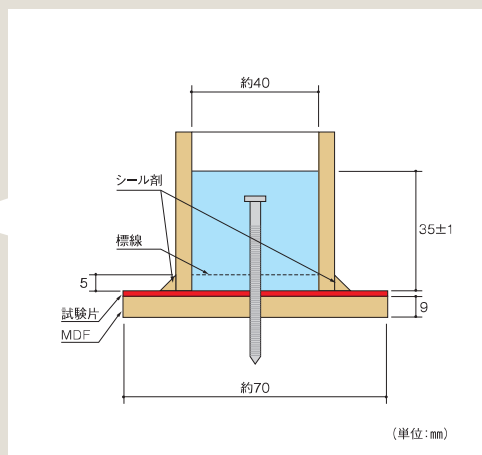
以下 (減水30mm以上) となると規格外となる。

※今回は、N数5にて比較試験を行いました。

透湿度 JIS L 1099A-1法



釘穴止水試験



住宅屋根下地用 透湿・防水 粘着シート『ラップタイト』物性表

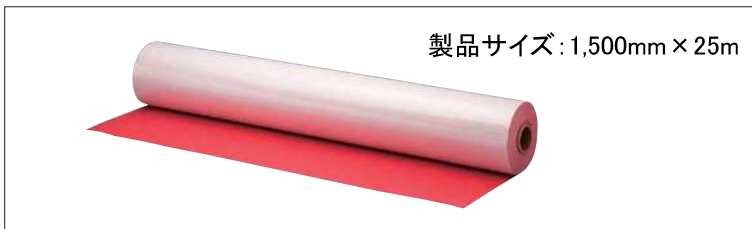
測定機関 一般財団法人 建材試験センター

試験方法 JIS A 6111:2016 に準拠

	評価項目		JIS規格値	ラップタイト
	初期性能	透湿抵抗 (m ² ・s・Pa/μg)		0.65以下
引張強さ (N)		縦	100以上	378
		横	100以上	232
つづり針保持強さ (N)		縦	50以上	140 ^{*1}
		横	50以上	104 ^{*1}
発火性		発火しない	発火なし	
防水性 (kPa)		10以上	100以上	
熱収縮性 (%)		1.0以下	0.4	
防風性 (s)		(規定しない)	1179	
釘穴止水性		10個の平均水位が5mm 以上かつ全流出が1個もない	残水位28mm	
耐久性	防水性 (kPa)		8以上	96
	引張強度残存率 (%)	縦	初期値の残存率50以上	82
		横	初期値の残存率50以上	91
	引張伸度残存率 (%)	縦	表示する	59
		横	表示する	67

※1:本製品は粘着製品であり、つづり針を使用しません。そのため、当該試験では、つづり針を打ち付けずに測定しています。
(貼付条件:2kgのゴムローラーを300mm/minで1往復させて圧着。JIS Z 0237に規定)

ここに記載の数値は、保証値ではありません。



注意事項

施工前に下記の説明をよくお読みになり、正しい施工をお願いいたします。

⚠ 保管時・施工前の注意

- ラップタイト本体に日光が当たると紫外線による劣化が起こります。必ずカートンに入れ、直射日光が当たらない場所で保管してください。
- 屋根勾配は2.5寸以上を推奨します。陸屋根には不適合です。
- 野地板には構造用合板を使用してください。

⚠ 施工時の注意

- 「ラップタイト」の粘着部分に剥離紙（表面）が付着すると取れなくなるので注意してください。
- 施工は縦貼り・横貼りどちらでも可能です。
- 横に貼る場合には下から重ね貼りしてください。
- 重ね合わせは水平方向の場合は100mm、垂直方向に100mm以上を推奨します。
- 上から強く押さえて貼ってください。
- 接着させて固定するため、タッカーでの固定は不要です。
- 野地板が乾燥していることを確認してから貼ってください。
- 野地板にゴミ、砂ぼこり等が付着していると十分な粘着力が出ませんのでご注意ください。
- 強風時の施工は避けてください。
- 「ラップタイト」施工後は、速やかに屋根材を施工してください。
- 施工時には滑りやすい靴を履かないでください。特に剥離紙は滑りやすいので注意してください。
- 雨天時の施工は粘着力の低下を引き起こし、また剥離紙が滑りやすく危険ですので控えてください。
- 剥離後の剥離紙は速やかに廃棄処理してください。その際には各自治体の廃棄処理の指示に従ってください。
- 2人以上の作業を推奨します。
- あらかじめ必要な長さに切って施工してください。
- 貼り直しは可能です（粘着面に汚れがない場合）。
- 本製品同士の重ね貼りも可能です。その際に、重ね目のタッカー留めは不要です。

VIGteQnos ビッグテクノス株式会社

本社・工場 〒639-2261 奈良県御所市城山台166-17 TEL 0745-66-2300 (代) FAX 0745-66-2309
 東京支店 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-4-1 (大手町21ビル) TEL 03-3295-8235 (代) FAX 03-3295-9659
 大阪支店 〒541-0059 大阪府中央区博労町1-8-2 (三共堺筋本町ビル6F) TEL 06-6266-5582 (代) FAX 06-6266-5185

Wraptiteに関するお問い合わせは
 TEL 06-6266-5582 (代)